企業に未来基準の元気を！

2017年6月6日
株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
（東証第二部 コード8769）

「健康経営銘柄」の半数が当社サービスを導入
「健康経営優良法人（ホワイト500）」は約3割

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：鳥越 慎二、以下「当社」）は、「健康経営銘柄」に選出された企業24社のうち5割、「健康経営優良法人（ホワイト500）」においても約3割にサービス（＊）を提供しています。

＊ストレスチェック義務化対応サービス「アドバンテッジ タフネス」／「アドバンテッジ EAP」、研修、「産業医サービス」、適性検査「アドバンテッジ インサイト」、「EQ ソリューション」、「GLTD（団体長期障害所得補償保険）」、休業者管理サービス「H-ARM-ONY（ハーモニー）」など

■当社サービス導入企業の例（五十音順）

・イオン株式会社・・・健康経営優良法人
・株式会社セブン＆アイ・ホールディングス・・・健康経営優良法人
・株式会社大京・・・健康経営銘柄、健康経営優良法人
・TOTO株式会社・・・健康経営銘柄（3年連続選出）、健康経営優良法人
・日本航空株式会社・・・健康経営銘柄（3年連続選出）
・株式会社レオパレス21・・・健康経営優良法人

官民を挙げた取り組みである「働き方改革」は今後一層推進され、「健康経営」に取り組む企業はますます増えるものと見込まれます。当社は 「健康経営」をめざすすべての企業を支援し、働き方改革の進展に寄与してまいります。

＊「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

（参考）

「健康経営銘柄」とは

経済産業省と東京証券取引所が選定。従業員等の健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践するリーディングカンパニーとして、2015 年より認定制度を開始。健康経営に取り組むことで、従業員の活力や生産性の向上等、組織の活性化がもたらされ、中長期的な視点からの企業価値を重視する投資家に対し、魅力ある企業として紹介することを目的としている。3回目となる2017年は24社を選定。

「健康経営優良法人」とは

経済産業省が認定。地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としており、職場の活性化やメンタルヘルス対策も認定基準に含まれている。初回である 2017 年は「大規模法人部門（ホワイト500）」の235法人、「中小規模法人部門」の95法人を認定。

【お問い合わせ先】
株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント　http://www.armg.jp
（取材・広報に関して）　経営企画部 ： 小林 幸子／大橋 健一　TEL：03-5794-3890